ダンボールコンポストでつくる生ごみ堆肥

●特徴

市民団体「青梅・生ごみ堆肥化ネットワーク」は特別な菌などを用意せずに、身近に手にはいる腐葉土、米ぬか、ダンボール箱を使って家庭で手軽にできるダンボールコンポストでの生ごみ処理をすすめています。ベランダでもできます。

●準備するもの

ダンボール箱（しっかりしたもの）

床材として、腐葉土　16ℓくらい、米ぬか　3kg＋1kg

＊ピートモスともみ殻くん炭を１対１の割合で混ぜたものを使ってもよい。

●生ごみ堆肥の作り方

１）ダンボールコンポストを作る

ダンボールのふたを立て、ガムテープで固定する。補強のため角と底部にもガムテープを貼る。虫が入らないように取っ手の穴を内側外側両面からをふさぐ。新聞紙、2，３日分を底部の大きさに折りたたみ敷く（水分吸収のため）。

雨に濡れないような場所に、風通しをよくするためにレンガやブロックを２つ並べ、その上に設置する。

２）生ごみを入れる

①ダンボールに腐葉土と米ぬか 3kg を入れ、底からよくかき混ぜる。

②投入する生ごみは１日 700g～1kg が目安。　細かく切ると微生物が分解しやすい。

③一日目は箱の左に、二日目は右にと場所をえて交互に生ごみを入れる。生ごみの投入の仕方は、穴を掘り、入れたあと発酵促進のために米ぬかをひと振りして、腐葉土をしっかり被せる。

④ダンボールにコンポストキャップ（作り方次ページ）を被せ、ゴムひもで止める。（写真右下）

＊一日一回はかき回す。

＊水分が多いと虫が発生しやすい。にぎって手のひらにつくくらいが良い状態。

＊温度計で中の温度を計ってみよう。40℃以上にまで温度があがると発酵が進む。